



経管栄養投与方法が 院内で統一化されました！

マニュアルを改訂し、院内での経管栄養投与方法の統一を目指します。
ぜひ参考にしてください。

1. 栄養剤の準備場所について

経管栄養は食事ですので準備は必ずパントリーで行ってください。
食事前ですので経管栄養投与前は必ず手指衛生を行ってください。

2. 薬の注入とザフト用に使用にシリンジについて

シリンジは毎食時に白湯・薬の注入用とザフト用の2本準備し、毎食時交換することになりました。計6本/日使用することになります。



3. 栄養剤の投与順について

白湯を入れる場合は、白湯→栄養剤の順に流して下さい。

白湯の胃内停滞時間は約1時間、栄養剤は約3時間とされているためです。

コップ一杯分程度までなら、注入バックを使用せずにシリンジで数回に分けて注入可
です。（医師からの特別な指示がなければ可）

4. 洗浄用の酢酸の作り方の紹介

経管栄養開始となったら栄養課に連絡をして酢酸を用意して下さい。

酢酸2mlに対して水18mlで薄め栄養剤投与後に管内を洗浄しましょう。

※手技の確認、不明な点がありましたら、各病棟のリンクナースに
たずねてください。

その他にも変更になった点がいくつかありますので、
NSTマニュアルをご参照ください☆

プロマック顆粒®（一般名ポラプレジンク）について



効能・効果：胃潰瘍

用法：通常成人にはポラプレジンクとして1回75mgを1日2回朝食後及び就寝前に経口投与する。
なお、年齢・症状により適宜増減する。

保険適応上は上記の通りですが、保険適応外で亜鉛（Zn）欠乏時の亜鉛補給、味覚障害、口内炎等に用いられることがあります。

1包の亜鉛含有量は16.95mgであり亜鉛補給時にも通常用量（1日2包：亜鉛33.9mg）で使用します。食事から10～15mg摂取できるといわれており、1日50mgの摂取で銅の吸収阻害が報告されているため過剰の摂取は注意が必要です。

また抗癌剤・放射線等の口内炎に創傷治癒促進作用・フリーラジカル抑制作用などを期待した治療報告がされており、U-4（ポラプレジンク含漱水）として薬剤部で作成開始しました。使い方は1日3～5回1回10mLを1分間含み、その後飲み込みます。

♪ 亜鉛のワンポイントメモ ♪

昨年9月から血清亜鉛測定が院内化されましたが、亜鉛ってどんな働きがあるか知っていますか？

簡単にまとめてみましたので、是非参考にしてみてください

《体内で関与している働き》

- ・味覚機能維持
- ・蛋白質合成作用
- ・細胞分裂
- ・ホルモン合成作用
- ・抗酸化作用
- ・アルコール代謝
- ・免疫機能維持
- ・コラーゲン生成
- など・・・

《亜鉛欠乏による症状》

- ・味覚障害
- ・疲労感、脱力感
- ・創傷治癒遅延
- ・感染症にかかりやすい
- ・脱毛
- ・生理不順

《亜鉛含有量の多い食品》

- ・牡蠣3～4個→9.2mg
- ・牛もも肉薄切り3枚→3.6mg
- ・豚レバー50g→3.5mg
- ・うなぎ蒲焼1串→2.7mg
- ・ホタテ貝70g→1.9mg

※亜鉛の吸収を良くするために、ビタミンCと一緒に摂ると効果的です！

食事からの摂取がなかなか難しい場合は、特殊食品（たんぱくゼリー、アイスになるゼリーなど）を上手に利用しましょう！

お困りの際は、栄養管理課までご連絡下さい！

